

## 令和 4 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

### ●施設の概要

施設名	ドリームシアター岐阜	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市明徳町6番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	99,531,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与え、安心して過ごすことができる安全な居場所を提供する。		
施設概要	「子どものフロア」(4・5階)、研修室3、会議室、和室2、クッキングルーム、プレイルーム、音楽スタジオ、リハーサル室、メインホール、クラフトルーム、「ドリーム ホットスペース」		

### ●利用状況

		R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2下半期
各室稼働状況	利用者数(単位:人)	17,491	10,863	9,081	5,426	5,840
	施設各室の平均日数稼働率	58.7%	55.5%	38.8%	43.6%	40.2%
	施設(子どものフロア)の日数稼働率	91.7%	89.3%	81.3%	88.2%	79.6%

### ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①利用日・利用時間の厳守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①利用日・利用時間は厳守。 ②職員15人。サービスが低下しないよう、適切に人員を配置。 ③教育用タブレットPC内「Teams」への投稿。関係施設へのチラシ配布。ホームページ及びSNSによる情報提供。各種情報サイト、広報誌、新聞、地域情報誌等、様々なメディアを活用した情報提供。 ④館内3か所に「ご意見箱」を設置。主催事業、個人利用事業等、全事業を通じて利用者(参加者)アンケートを実施。窓口担当者及び各事業担当者による聞き取り。把握した内容は、マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応。改善策、取組状況をホームページ及び館内掲示にて公表。
提案事業 指定事業	下記主催事業を実施すること ①子ども対象事業 ②親子対象事業 ③一般対象事業 ④イベント事業	主催事業の実施 ①子ども対象セミナー 25講座 42回 参加者 238人 ②親子対象セミナー 39講座 43回 参加者 484人 ③一般対象セミナー 4講座 16回 参加者 111人 ④人形劇鑑賞会等 22回 参加者1,209人

<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期・特別清掃業務</p> <p>②タワーパーキング管理・保守点検</p> <p>③警備業務</p> <p>④自家用電気工作物保安全管理業務</p> <p>⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検</p> <p>⑥展示備品保守点検</p> <p>⑦自動火災報知設備保守点検</p> <p>⑧空調設備保守点検</p> <p>⑨自動ドア保守点検</p> <p>⑩エレベーター保守点検</p> <p>⑪空気環境測定</p> <p>⑫飲料用貯水槽清掃</p> <p>⑬水質検査</p> <p>⑭ねずみ等の生息調査及び駆除</p>	<p>①清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常清掃 毎日実施(開館日)</li> <li>・定期清掃 床面:12・3月実施 グリストラップ:12月実施 照明器具:1月実施 カーペット:3月実施</li> </ul> <p>②タワーパーキング保守点検:毎月実施</p> <p>③警備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常警備 毎日(開館日)</li> <li>・機械警備 毎夜(午後9時～午前9時) 休館日(午前9時～翌日の午前9時)</li> </ul> <p>④自家用電気工作物保守管理11・1・3月実施</p> <p>⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台照明装置:3月実施</li> <li>・音響機器:2月実施</li> </ul> <p>⑥展示備品保守点検:2月実施</p> <p>⑦自動火災報知設備保守点検:1月実施</p> <p>⑧空調設備保守点検:10・1・2月実施</p> <p>⑨自動ドア保守点検:2月実施</p> <p>⑩エレベーター保守点検:毎月実施</p> <p>⑪空気環境測定:11・1・3月実施</p> <p>⑫飲料用貯水槽清掃:上半期実施</p> <p>⑬水質検査:3月実施</p> <p>⑭ねずみ等の生息調査:上半期実施</p> <p>※職員による施設点検:毎日実施(開館日)  ※職員による定期的な館内の換気(2回/1時間)  ※遊具・玄関ドア・券売機等、重点箇所を定期的に消毒(3回/1日)</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <p>①迅速・適切な修繕の実施</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①日常点検による、迅速・適切な修繕の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型自動人形の修繕(不具合を確認し、即時対応)</li> <li>・換気扇の修繕(異音を確認し、即時対応)</li> <li>・照明設備の修繕(不具合を確認し、即時対応)</li> </ul> <p>②職員による修繕・整備の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンドグラス窓の補修</li> <li>・ドアの建付け修理</li> <li>・壁の補修</li> <li>・各種案内ボードの製作・設置</li> <li>・遊具の修理</li> <li>・クラフト工具の整備</li> </ul>
<p>危機管理法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①当事業団の個人情報保護方針に則り、適正に管理運用。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座申込みなどの際に入手する個人情報、外付けのHDDに保存し、閉館時には金庫に保管。</li> <li>・個人情報保護・情報セキュリティ研修の実施。</li> </ul> <p>②職員に対する「非常時対応マニュアル」の周知徹底及び実践的な研修(訓練)の実施。ホームページや館内掲示、直接的な呼びかけなどによる利用者に対する注意喚起。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の総合対策、県の行動指針等に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止策を適切に実施。</li> <li>・消防訓練の実施。</li> <li>・13名の職員が救命講習の資格を保持。</li> <li>・「避難所運営マニュアル」及び「岐阜市総合防災安心読本」に基づく対応の確認。</li> </ul> <p>③地方自治法、岐阜市ドリームシアター岐阜条例・同施行規則等、関係法令に基づき適切に運営。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○主催事業アンケート          ・子ども対象セミナー、「人形劇鑑賞会」等の参加者を対象にアンケートを実施          質問項目:「事業満足度」「事業を知った広報媒体」「意見・要望」等          ○個人利用事業アンケート          ・「子どものフロア」(4・5階)利用者を対象にアンケートを実施          質問項目:「利用全般」「楽しかった体験・遊び」「意見・要望」等          ○団体利用事業アンケート          ・小中学校、幼稚園、保育所等の利用団体を対象にアンケートを実施          質問項目:「利用全般」「施設設備」「接客マナー」「意見・要望」等          ○貸室事業アンケート          ・メインホール、研修室等の貸室を利用する団体を対象にアンケートを実施          質問項目:「利用全般」「施設設備」「接客マナー」「意見・要望」等          ○市民アンケート          ・他施設の利用者を対象にアンケートを実施 ※出前講座・イベント協力の機会に実施          質問項目:「当施設の利用の有無」「子ども向け事業の認知度」「興味・関心がある活動」等</p>
	<p>○主催事業アンケート          【セミナー事業:子ども対象セミナー・親子対象セミナー・一般対象セミナー】          ・回収枚数 378枚(初回利用117枚 複数回利用261枚)          ・「不満足」「大変不満足」の回答はなし</p> <p>①「事業満足度」(満足度98.4%) ※カッコ内の満足度:「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合(以下同じ)          初回利用 大変満足 76.1% 満足 19.6% ふつう 4.3% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%          複数回利用 大変満足 85.0% 満足 14.6% ふつう 0.4% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「事業を知った広報媒体」 ※「Teams」:小中学校で配布されている教育用タブレット          初回利用 チラシ 24.8% 広報誌ふ 41.0% HP・SNS 20.5% 「Teams」 2.6% その他 11.1%          複数回利用 チラシ 44.8% 広報誌ふ 21.2% HP・SNS 22.0% 「Teams」 3.1% その他 8.9%</p> <p>&lt;主な意見&gt;          ・すごく楽しくケーキが作れました。早く家族に食べてもらいたいです(子ども対象セミナー)          ・盲導犬に接することができ、我が子にとってとても貴重な体験となりました。(親子対象セミナー)          ・読み聞かせの基本技術を教えていただき、とても参考になりました。(一般対象セミナー)</p> <p>【イベント事業:人形劇鑑賞会・ファミリー劇場・ドリーム体験ツアー等】          ・回収枚数 277枚(初回利用105枚 複数回利用172枚)</p> <p>①「事業満足度」(満足度97.1%)          初回利用 大変満足 78.6% 満足 20.4% ふつう 1.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%          複数回利用 大変満足 75.1% 満足 20.9% ふつう 3.4% 不満足 0.0% 大変不満足 0.6%</p> <p>②「事業を知った広報媒体」          初回利用 チラシ 18.1% 広報誌ふ 39.0% HP・SNS 36.2% 「Teams」 1.9% その他 4.8%          複数回利用 チラシ 15.1% 広報誌ふ 41.9% HP・SNS 36.6% 「Teams」 0.6% その他 5.8%</p> <p>&lt;主な意見&gt;          ・糸あやつり人形の動きがとても繊細で感動しました。(人形劇鑑賞会)          ・リズムに合わせて、子どもたちが楽しそうに踊っている姿が印象的でした。(ファミリー劇場)          ・大道芸体験の皿回しがうまくできて、うれしかったです。(ドリーム体験ツアー)</p>
	<p>○個人利用事業アンケート ※対象:「子どものフロア」(4・5階)利用者          ・回収枚数 92枚(初回利用18枚 複数回利用74枚)          ・「ふつう」「不満足」「大変不満足」の回答はなし</p> <p>①「利用全般」(満足度100%)          初回利用 大変満足 88.9% 満足 11.1% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%          複数回利用 大変満足 89.2% 満足 10.8% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「楽しかった体験・遊び」(複数回答可) ※複数回答のため、割合の総和は100%を超える          初回利用 遊具・玩具等の遊び 88.9% 物づくり 44.4% TVゲーム 33.3% 絵本・マンガ 5.6%          複数回利用 遊具・玩具等の遊び 90.5% 物づくり 59.5% TVゲーム 48.6% 絵本・マンガ 13.5%</p> <p>&lt;主な意見&gt;          ・木の手づくりおもちゃが、とても工夫されていて、おもしろかったです。          ・ほかのところではできない遊びがたくさんあり、何回でも来たいです。          ・小さい子が危なくない工夫がされていて、安心して遊ぶことができました。</p>

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○団体利用事業アンケート ※対象:小中学校、幼稚園、保育所等の団体利用者  ・回収枚数 70枚(初回利用31枚 複数回利用39枚)  ・「不満足」「大変不満足」の回答はなし</p> <p>①「利用全般」(満足度100%)  初回利用 大変満足 90.3% 満足 9.7% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%  複数回利用 大変満足 79.5% 満足 20.5% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「施設設備」(満足度98.6%)  初回利用 大変満足 90.3% 満足 9.7% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%  複数回利用 大変満足 76.9% 満足 20.5% ふつう 2.6% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>③「接客マナー」(満足度100%)  初回利用 大変満足 96.8% 満足 3.2% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%  複数回利用 大変満足 87.2% 満足 12.8% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>&lt;主な意見&gt;  ・どの活動も職員の方々が丁寧に接して下さり、存分に楽しむことができました。  ・いろいろな感覚を刺激される遊びがあり、とてもよい時間を過ごせました。  ・子どもたちは、「帰りたくない。」と言っていました。</p> <hr/> <p>○貸室事業アンケート  ・回収枚数 268枚(初回利用36枚 複数回利用232枚)</p> <p>①「利用全般」(満足度98.1%)  初回利用 大変満足 69.4% 満足 27.8% ふつう 0.0% 不満足 2.8% 大変不満足 0.0%  複数回利用 大変満足 53.9% 満足 44.4% ふつう 1.7% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「施設設備」(満足度95.3%)  初回利用 大変満足 69.5% 満足 22.2% ふつう 8.3% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%  複数回利用 大変満足 57.3% 満足 38.6% ふつう 4.1% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>③「接客マナー」(満足度96.9%)  初回利用 大変満足 80.5% 満足 13.9% ふつう 2.8% 不満足 2.8% 大変不満足 0.0%  複数回利用 大変満足 61.4% 満足 35.9% ふつう 1.9% 不満足 0.4% 大変不満足 0.4%</p> <p>&lt;主な意見&gt;  ・丁寧に対応していただき、ありがとうございました。  ・とても快適にピアノの練習ができました。  ・次回もぜひ利用したいと思います。  ・事前も当日もコロナ対策のチェックをさせるなど、管理者側の都合が強い。  ⇒事前説明が不足していた点について謝罪。当館の対応について、予約時などの利用前に、より丁寧かつ具体的に説明するよう、職員に徹底。  ・代表者以外は、定員の半数以下というコロナ対策の制限を知らなかった。  ⇒代表者へ事前に「コロナ対策チェックシート」をお渡しする際、このシートの「参加者全員への周知」という内容について、重点的に説明するように対応を改善。  ・おつりを間違えられた。  ⇒謝罪し、即時返金。精算時の確認作業を、より丁寧に行うよう、受付担当者に徹底。</p> <hr/> <p>○市民アンケート ※対象:他施設の利用者  ・回収枚数 40枚</p> <p>①「当施設の利用の有無」有47.5%</p> <p>②「子ども向け事業の認知度」52.5%</p> <p>③「興味・関心がある活動」  ・工作・SDGs・手芸に関する講座、ドラムの演奏体験 等</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者の要望・苦情に対しては、下記のとおり適切に対応。</p> <p>&lt;主な意見&gt;  ・ギターアンプの一つがよくハウリングを起こす。(音楽スタジオ利用者)  ⇒専門業者によるメンテナンスを行うとともに、日常点検の中で、この点についての確認を徹底。  ・駐車場の係の人は、横柄な感じがした。(駐車場利用者)  ⇒接遇について、当館・委託業者の各責任者が業務員に指導。  ・参加者が講師用のキッチン台に集まって説明を聞くと、子どもには見えない高さだった。(クッキングに関する親子セミナー参加者)  ⇒踏み台を活用するように改善。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者要望・意見を把握し、それを基に公正な施設運営に努めているか。 ・条例・施行規則に則った利用許可を行っているか。	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施 各フロアの特質を生かした特徴的なサービス提供や、市民協働によるサービス向上、体験コーナーの充実を図っているか。	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施 参加者や利用団体の要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施 施設利用や主催事業のPR活動とともに、新しいプログラム開発に努め、利用拡大を図っているか。	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・質の高い文化体験の提供や効率の良い施設管理をするために、各分野に精通した職員を配置しているか。	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	S	S
		区分評価				S
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	S	S	S
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

【公平性・透明性】

・当館の利用者だけでなく、より広く市民の声を収集するため、他施設の利用者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果も踏まえながら、広報手段の見直しを図ったり、次年度の主催事業計画を策定したりした。  
 質問項目：当館の利用の有無、子ども向け事業の認知度、興味・関心がある活動  
 ・ホームページはもちろんのこと、各種情報サイト(14種類)を活用し、幅広く情報提供を行った。  
 ・上記の情報サイトのうち、お出かけ情報量日本最大級の「子どもとお出かけ情報サイト いこーよ」の月間アクセス数において、今期も6カ月連続で県内1位(児童館のカテゴリー)となった。  
 参考：県内86施設中1位(東海地区412施設中7位) ※3月末現在  
 ・Instagramを中心に、引き続き、SNSを積極的に活用して情報提供を行なった。  
 参考：Instagramの投稿数6回 ※施設紹介、主催事業案内等  
 ・新たに小中学生向けのポスターを制作するとともに、既存のリーフレットのリニューアルを行い、小中学校や児童館・児童センターなど、多くの関係施設(機関)に協力を得ながら、これらを活用した広報活動を推進した。 ※リーフレット:「子どもフロア」(4・5階)利用者向け・貸室利用者向け2種類  
 ・アンケート結果については、ホームページ及び館内掲示で公表し、透明性の確保に努めた。(子ども向け・一般向けの2種類を掲載・掲示)

【効果性】

・「子どものフロア」(4・5階)のサービスの充実を図るため、職員手作りの遊具を新たに5種類設置した。また、「電車遊びコーナー」を新設したほか、物づくりや読み聞かせなどに関するミニイベントを計33回実施した。  
 ・令和4年6月に開設した「ドリーム ホット スペース」(2階)については、引き続き、利用者一人一人に寄り添った親切・丁寧な対応に努めるとともに、継続的な利用につながるよう、遊具や図書、物づくりメニューの入れ替えを定期的に行なった。  
 参考：今期の「ドリーム ホット スペース」(2階)の月平均利用者数71.7人(令和4年6～9月 58.3人)  
 ・主催セミナーについては、小中学生を対象としたセミナーの充実重点を置きながら、新規講座を積極的に実施した。  
 新規講座の講座数(主催セミナー全体の講座数)：16講座(68講座)  
 新規講座の例:「ガラス彫刻に挑戦」「電気工作 AM・FMラジオ」「リボンで作るアクセサリ」  
 ・上記の新規講座を含め、各講座の実施にあたっては、子どもたちの“主体的な学び”を大切にプログラムづくりを行った。  
 例:「ミュージシャンクラブ」(小中学生を対象とした6日間のコース講座)  
 ・学校・学年が異なる子どもたちが、自分たちでパート(演奏する楽器)を決めてバンドを組み、課題曲を練習  
 ・当館での講師による直接指導に加え、楽器を貸し出し、子どもたち一人一人が自宅でも自主練習  
 ・最終日(6日目)に保護者を中心とする観客の前で演奏  
 ・当館を会場とした通常の主催セミナーに加え、パソコンやスマートフォンなどから手軽に受講してもらえるよう、オンラインセミナーも2講座実施した。  
 ・草潤中学校、子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”、中央青少年会館の各施設(機関)と連携し、今期は主に以下の取組みを実施した。  
 取組み:草潤中学校  
 ・学校で行われた催し「年始めの活動」で、大道芸や昔の遊びの体験ブースを設置“エールぎふ”  
 ・通所生のみなさんに当館を利用してもらい、物づくりなどの各種体験メニューを提供  
 中央青少年会館  
 ・当館と中青を行き来しながら、両施設の体験メニューが楽しめる共催イベントを開催  
 ・主催事業、個人利用事業等の各事業を通して、アンケート調査を実施するとともに、事業毎に担当者を配置し、活動前から活動後まで、きめ細やかな聞き取りを行った。  
 なお、アンケート調査による各事業の満足度の結果は、以下の通りとなった。  
 各事業の満足度：主催事業97.9%、個人利用事業100%、団体利用事業100%、貸室事業98.1%  
 ※数値はいずれも「大変満足」「満足」の合計が全体を占める割合(以下同じ)  
 ・今期実施した主催セミナー68講座のうち、17講座は職員自らが講師を務めており、外部講師によるセミナーと同様に、非常に高い満足度を得ることができた。また、出前講座や指導者向け研修会の講師としても、市内各地の多くの団体(機関)の依頼に応えた。  
 職員が講師を務めた主催セミナーの満足度：100%  
 出前講座における講師活動：計4回  
 指導者向け研修会における講師活動：計3回

【効率性】

・“自分たちでできることは、自分たちで”をモットーに、遊具や机、椅子などの備品はもちろんのこと、設備に関わる部分まで、可能な限り職員で修理や補修を行った。  
 例：ドアの建付け修理、スタンドガラス窓の補修(※)、壁の補修  
 ※昨年度末から継続的に実施し、今期1月に補修完了  
 ・“手づくりのよさ”を様々な取組みに生かし、経費の縮減と利用者サービスの向上の両立を図った。  
 例:「子どものフロア」(4・5階)の遊具の充実、親しみやすい案内ボードの設置、季節に合わせた館内装飾  
 ・牛乳パックや空箱、木片などの廃材を活用したりリサイクル工作メニューを積極的に取り入れ、経費を抑えながら、物づくり体験の充実を図ることができた。  
 今期「子どものフロア」(4・5階)で提供したりリサイクル工作メニュー：12種類  
 ・館内巡回を徹底し、日常的な節電・節水対策に取り組むとともに、長期的な視点に立って、以下の省エネ対策を講じた。  
 対策:照明のLED化(3・4・5・6階の一部)、遮熱カーテンへの取替え(3・4・5階の一部)(※)  
 ※冷暖房効率の向上を図り、ガス使用量を削減するため(当館はガス空調)

今期の取組み  
 に対する評価

#### 【安定性・安全性】

・今期実施した主催セミナー68講座のうち、17講座は職員自らが講師を務めており、外部講師によるセミナーと同様に、非常に高い満足度を得ることができた。また、出前講座や指導者向け研修会の講師としても、市内各地の多くの団体（機関）の依頼に応えた。

職員が講師を務めた主催セミナーの満足度：100%

出前講座における講師活動：計4回

指導者向け研修会における講師活動：計3回

・「信長公騎馬武者行列」（「ぎふ信長まつり」）の開催にあたっては、来館者の安全・安心を第一に、トイレへの誘導や道案内、館内巡回などを行う職員を増員（※）して、当日の対応を行った。また、全館に観覧防止措置を講じたり、当日の対応について、多様な手段で周知を図ったりするなど、適切な事前対策を講じた。※当事業団本部（事務局）より3名の職員を派遣

・年度当初に策定した職員研修計画（目標：全職員年間6回以上）に基づき、全職員が積極的に研修に取り組み、目標を達成することができた。また、その成果として、2名が以下の資格を取得した。

新規の資格取得：発達支援教育士、児童心理・認知行動療法等カウンセラー各1名

・研修成果については、研修報告会を通じて全職員で共有化を図るとともに、その成果を早期に実践に生かせるよう、担当者の割振りを行い、さらなるスキルアップにつなげた。

例：照明操作研修に初めて参加した職員 ⇒ 研修翌月の音楽イベントで照明係の補助を担当

・施設長以外の職員も児童館・児童センターの職員と積極的に情報交流を図れるよう、合同職員研修会の実施（今期3回実施）にあたっては、この点に留意して担当者の割り振りを行った。また、今期は各施設（市内13施設）を訪問し、当館の次年度用の活動メニューを紹介する取組みを実施しており、これについても、同様の点に留意して担当者の割り振りを行った。

・前述の「信長公騎馬武者行列」の当日を含め、今期も大きな事故やケガなどはなかった。

#### 【貢献性】

・物づくりやレクリエーション活動などに関する専門性を生かし、地元団体（機関）に対して、計4回の出前講座を実施した。

実施先：岐阜東幼稚園、岩野田地区子ども会、木田地区子ども会、芥見地区子ども会

・上記の出前講座のほか、イベント協力として、岐阜市文化センターで開催された「ぎふサイエンスフェスティバル」や、岐阜ファミリーパークで開催された「ファミリーフェア」への出展（体験ブースの設置）も行った。

・児童館・児童センターとの連携を推進するため、主に以下の3つの取組みを実施した。

取組み：①児童館・児童センターの職員を対象とした研修会

・当館職員が講師を務め、物づくりに関する研修会を実施（2回）

②当館の次年度用の活動メニューの紹介

・市内13施設を訪問し、内容説明

③東児童センターとの事業協力

・当館職員を派遣し、上記施設の利用者を対象に、大道芸の体験会を実施

・「岐阜市保育所（園）認定こども園職員研修（学習会）」の講師として職員2名を派遣し、「子どもと楽しむ製作遊び」というテーマで、講義・実践指導を行った。

・中学生の職場体験や大学生のボランティア体験の受入れを行い、きめ細かく指導・支援を行った。また、岐阜市の教員施設研修員制度に基づき、教員の研修受入れも行い、当館のノウハウを学んでもらうことができた。

受入れ人数：中学生5名、大学生56名、中学校教員1名

・高齢者を含め、多くの方がドリームサポーター（施設ボランティア）に登録しており、「子どものフロア」（4・5階）利用者への対応をはじめ、人形劇鑑賞会の活動補助やミニイベントの企画・運営など、幅広く活躍してもらうことができた。

参考：ドリームサポーターの登録者数112名

・「ぎふ信長まつり」の開催にあたっては、このイベントを盛り上げる一翼を担えるよう、主に以下の5つの取組みを実施し、2日間で延べ937人の来館者に対応を行った。

取組み：①レンタル着物の着付け

・着物姿で周辺の散策を楽しんでもらう催し

②缶バッチコーナーの設置

・信長公をモチーフにしたイラストに塗り絵をする缶バッチづくり

③顔はめパネルコーナーの設置

・信長公をモチーフにした顔はめパネルでの写真撮影

④各階トイレへの誘導係の配置

・「おもてなしトイレ」に登録し、対応

⑤同時開催されたイベント「さんぽde野外ライブ」への協力

・会場準備や当日の会場案内

・その他、「サタデー・サンデースクール（※）」「アダプト・プログラム」「ベルマーク運動」「こどもスマイルステーション」「赤ちゃんステーション」「子ども110番の家」などの取組みも継続している。

※青少年会館5館が推進する週末の学習サポート事業で、前回より当館職員を講師として派遣

前回までの意見を踏まえた取組み状況

【所管課の前回意見に対する取組み状況】

○各種SNSを利用して積極的に広報活動を行うとともに、放送局と協働で事業を実施し、その事業の様子をテレビ番組で取り上げてもらうなど、多方面で活動周知に努めている。

⇒引き続き、SNSをはじめ、新聞や地域情報誌、ラジオなど、多様な媒体を活用しながら、広報活動を行った。また、今期はポスターの新規制作及びリーフレットのリニューアルを行い、これらを活用した広報活動にも力を入れて取り組んだ。

○新規事業を多数実施し、その中でも子どもたちが自分たちで考えて取り組める事業を実施するなど、子どもの自主性を育む事業にも努めている。

⇒今期も主催セミナーにおいて、新規講座を積極的に実施した。また、各講座の実施にあたっては、子どもたちの自主性を育めるよう、引き続き、この点に留意したプログラムづくりと活動支援を行った。

新規講座の講座数(主催セミナー全体の講座数):16講座(68講座)

講座の活動例:「ミュージシャンクラブ」(小中学生を対象とした6日間のコース講座)

- ・学校・学年が異なる子どもたちが、自分たちでパート(演奏する楽器)を決めてバンドを組み、課題曲を練習
- ・当館での講師による直接指導に加え、楽器を貸し出し、子どもたち一人一人が自宅でも自主練習
- ・最終日(6日目)に保護者を中心とする観客の前で演奏

○ドリームホットスペースの開設に向けた内装整備や施設内の修繕についても、職員自らが行うなど、施設的环境整備に努めている。

⇒設備・備品の修理・補修を可能な限り職員で行ったり、以下の例のように、“手づくりのよさ”を様々な取組みに生かしたりしながら、今期も環境整備を推進することができた。

例:「子どものフロア」(4・5階)の遊具の充実、親しみやすい案内ボードの設置、季節に合わせた館内装飾

○職員の専門性を活かして職員自らが講師を務めるセミナーを22講座実施するだけでなく、新たに資質向上のために研修に参加し、研修の成果を早期に実践に活かすことができる体制を整えている。

⇒職員が講師を務める主催セミナーを今期は17講座実施した。また、職員研修については、全職員が年間目標(6回以上)を達成し、その成果として、2名が新たな資格を取得することができた。(発達支援教育士、児童心理・認知行動療法等カウンセラー各1名)

なお、以下の例のように、研修成果を早期に実践に生かすための取組みも継続している。

例:照明操作研修に初めて参加した職員 ⇒ 研修翌月の音楽イベントで照明係の補助を担当

○市内の児童館・児童センターの職員に向けて研修を実施したり、行事を実施したりするなど、活動や資質能力を他の施設にも積極的に還元している。

⇒上記の視点を大切に、今期も児童館・児童センターの職員を対象とした研修会や、保育所(園)・認定こども園の職員を対象とした研修会で講師を務めるとともに、他施設へのイベント協力や出前講座などを通して、ノウハウの提供に努めた。

【評価委員会の前回意見に対する取組み状況】

○多様な子どものニーズに応え、新たなスペースを開設されたのが良い。

⇒6月に開設した「ドリーム ホット スペース」については、認知度の向上を図るため、広報活動を推進するとともに、継続的な利用につながるよう、遊具や図書、物づくりメニューの入れ替えを定期的に行った。

利用者数:月平均71.7人(前回58.3人)

○当施設は他の児童館・児童センターの手本になる施設であるので、施設長だけでなく、職員同士の横のつながりにも期待したい。

⇒児童館・児童センターとの連携を推進するため、今期は主に以下の3つの取組みを実施しており、これらの取組みが、施設長以外の職員の交流の機会にもなるよう、担当者を配置した。

取組み:①児童館・児童センターの職員を対象とした研修会

- ・当館で2回実施し、各回異なる職員が講師を担当

②当館の次年度用の活動メニューの紹介

- ・3名の職員が分担して市内13施設を訪問し、内容説明

③東児童センターとの事業協力

- ・2名の職員を派遣し、上記施設の利用者を対象に大道芸の体験会を実施

※取組み①②③の担当職員は、いずれも施設長以外



<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者以外の市民の声も施設運営に積極的に生かしていけるよう、出前講座の受講者や他施設のイベント参加者に、当館の利用に関するアンケート調査を実施する。</li> <li>・SNSをはじめ、新聞や地域情報誌、テレビ、ラジオなど、多様な媒体を活用して広報活動を行う。</li> <li>・上記に加え、ホームページの充実や関係施設との相互PRにも力を入れて取り組む。</li> <li>・主催セミナーについては、子ども対象講座の拡充を図るとともに、各講座を通して、子どもたちの主体性を大切にしたいプログラムづくりと活動支援を行う。</li> <li>【参考】次年度計画：子ども対象講座112講座（今年度87講座実施）</li> <li>・「子どものフロア」（4・5階）については、「また来たい！」と思ってもらえるよう、新規遊具の製作を推進するとともに、各コーナーのリニューアルを定期的に行う。また、この施設の利用者を対象としたミニイベントも積極的に実施する。</li> <li>【目標】職員手づくりの新規遊具の提供：年間8種類以上 「子どもフロア」利用者を対象としたミニイベント：年間60回以上</li> <li>・草潤中学校や子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”などと連携しながら、「ドリーム ホット スペース」（2階）の有効活用をさらに促進する。</li> <li>・広く市民を対象とした主催イベントを開催したり、新たに貸室のPR動画を作成・配信したりするなど、実効性のある利用促進策を講じる。</li> <li>・節電・節水等の省エネ対策を徹底するとともに、廃材の有効活用や職員による自前修繕を推進し、経費の削減を図る。</li> <li>・「岐阜県ワークライフ・バランス推進エクセレント企業」や「ぎふし共育・女性活躍企業」などの認定基準に照らし、職場環境の維持・向上に努める。</li> <li>・職員研修計画に基づき、職員の研修会への参加や資格取得を推進する。</li> <li>【目標】職員研修：全職員年間6回以上 新規の資格取得：年間3名以上</li> <li>・児童館・児童センターと合同で職員研修会を実施したり、イベント協力を行なったりする中で、各施設の取組みや課題などについて、担当者間での意見交換を行う。</li> <li>・市内公共施設への出前講座やイベント協力を積極的に実施する。</li> <li>【目標】出前講座：年間12回以上 イベント協力：年間7回以上</li> <li>・新たに設置される子育て支援施設「ツナグテ」と連携した事業展開について、具体化できるようにする。</li> <li>・市民協働を推進するため、ドリームサポーター（施設ボランティア）への活動支援や、市民講師による「ドリーム市民企画セミナー」の充実を図る。</li> <li>・小中学校や高校、大学などと連携し、職場体験（就業体験）の機会を広く提供する。</li> </ul>
---------------	--

●所管課の意見

- 新たに小中学生向けのポスターを制作したり、SNS等を活用して広報をするなど、様々な手段を利用して効果的な広報活動を実施している。
- 新規講座を多数実施したり、パソコンやスマートフォンから受講できるオンラインセミナーを実施するなど、利用者の満足度や利便性の向上に努めている。
- 職員自ら講座の講師を務めたり、児童館・児童センターと合同で研修を実施するなど、職員の資質向上に努めている。
- 地元の各種団体に出前講座を実施したり、施設ボランティアにイベントの運営をしてもらうなど、地域と連携して事業を実施している。
- 職員自ら修繕や補修を実施するなど、管理経費の削減に努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

職員の手作りの遊具を設置したり、廃材を活用したりサイクル工作メニューなどを積極的に取り入れており、そういったものづくり体験を充実させている点について非常に評価できる。  
 子どもの自主性を育てているプログラムについても評価できる。